

# 施策 59

## 基本施策 3 都市基盤の保全・整備

### 安全で持続可能な道路機能の保全・整備

#### めざす姿 (施策の目的)

都市計画道路や市幹線道路が、バリアフリー化や無電柱化等を考慮した上で整備されています。また、道路や橋りょう、街路樹などの道路施設について、予防保全型の管理や、市民・事業者・市の協働による取組により、長期にわたり機能の確保がなされています。

このことにより、誰もが安全で快適に利用できる、持続可能な道路機能の確保ができています。

#### 現状と課題

都市計画道路の整備や既存道路の改修を進めるほか、災害時に緊急車両等の通行や避難行動の障害とならないよう、狭あい道路の拡幅に向けた取組を進めることが求められています。さらに、無電柱化やバリアフリー化を推進し、誰もが安全で快適に移動できるよう、ユニバーサルデザインに配慮した道路を実現する必要があります。

また、道路等の適切な維持管理のため、民間活力を活用した包括管理を推進し、予防保全型の管理を進めるほか、先進技術の活用、自然災害への対応も含めた官民連携の推進、市民協働など、効果的な手法の検討、活用が必要です。

#### 施策の方向性

- 都市計画道路の整備や既存道路の改修と併せて、バリアフリー化事業や無電柱化事業等を計画的に推進します。また、橋りょう等の長寿命化に取り組めます。
- 狭あい道路に面した土地所有者などに理解と協力を得られるよう働き掛け、積極的に狭あい道路の早期解消に向けて取り組みます。
- 府中市インフラマネジメント計画に基づき、道路等包括管理事業の推進や先進技術の活用等により予防保全型の管理を進めます。
- 市民協働や官民連携など、様々な担い手による道路等の維持管理を進めます。



構造物の点検

## 指標

指標名	基準値	目標値 (R11)	指標の説明
老朽化対策を要する橋りょうの割合	30% (R6)	6%	老朽化対策が必要な橋りょうの割合です。
狭あい道路の割合	8.88% (R6)	7.36%	市道における狭あい道路が占める面積割合です。
道路等包括管理により予防保全で対応できた割合	65% (R6)	75%	道路等の管理において、要望・相談が来てからの事後対応でなく、巡回して予防保全で対応できた割合です。

## 主要な取組

取組名称	令和8年度から11年度までの取組内容
道路改良整備事業 都市計画道路整備事業	都市計画道路の整備や既存道路の改修を進めるとともに、府中市無電柱化推進計画に基づき計画的に無電柱化を推進します。また、橋りょう等の道路施設の老朽化・耐震対策を行い、施設の長寿命化を図ります。
狭あい道路拡幅整備事業	建築の際に幅員が4メートルとなるよう後退が必要な狭あい道路について、奨励金等の交付をインセンティブに土地所有者から敷地の提供を受け、市が道路整備を行うことで、その解消を図ります。
道路等維持管理事業	民間活力を活用した包括管理の手法により、更なる市民サービスの向上と維持管理費用の増大の抑制を図ります。また、先進技術の導入や点検を踏まえた計画的な管理により、予防保全型の管理に取り組みます。 街路樹については、安全な通行と良好な道路環境を保つため、大径木の間引きを行うとともに、健全な状態の確保を行います。

## 協働により推進したい取組

- ▶ 道路等の清掃などの美化活動に関すること。
- ▶ 道路等の不具合の通報システムに関すること。